

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：サービス接客I		堂上	■ 1年 前期	
到達目標	1、サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、応対の技術、振る舞いなどを学ぶ			2単位 32時数
	2、おもてなしの心とかたちを習得する			実務経験
	3、サービス接客検定3級合格			放送局勤務歴有・コンサル業務
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		クール開始授業説明、到達点について	
2	敬語①		現状の敬語力	
3	敬語②		小テスト／尊敬、丁寧	
4	敬語③		小テスト／謙譲語	
5	敬語④		小テスト／よく間違える敬語の使い方	
6	検定対策		模擬テスト	
7	検定対策		模擬テスト	
8	中間テスト		筆記テスト	
9	復習授業		前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について	
10	敬語・グループ研究		グループワーク／サービス接客2級対策	
11	敬語・グループ研究		グループワーク／サービス接客2級対策	
12	敬語・グループ研究		グループワーク／サービス接客2級対策	
13	敬語・グループ研究		グループワーク／サービス接客2級対策	
14	敬語・グループ研究		グループワーク／サービス接客2級対策	
15	敬語・グループ研究		グループワーク／サービス接客2級対策	
16	最終テスト		筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール オブ ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： サービス接客II		堂上	■ 1年 後期	
到達目標	1、サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、対応の技術、振る舞いなどを学ぶ		2 単位 32 時数	
	2、おもてなしの心とかたちを習得する 3、サービス接客検定3 級合格		実務経験 放送局勤務歴有・コンサル業務	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		クール開始授業説明、到達点について	
2	前期振り返り		理解できていないところの把握と克服	
3	敬語		過去問	
4	アナウンス文		場面に応じた文章作成・問題集	
5	掲示文		場面に応じた文章作成・問題集	
6	販売文		場面に応じた文章作成・問題集	
7	検定対策		模擬テスト	
8	中間テスト		筆記テスト・実技テスト	
9	導入授業		前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について	
10	電話対応		電話の受け方・名前伺い	
11	電話対応		聞き取り	
12	電話対応		伝言の受け方とメモ	
13	電話対応		会話のバトンタッチ	
14	電話対応		クレーム	
15	電話対応		ケーススタディ	
16	最終テスト		筆記テスト・実技テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：office基礎（Wbrd）		小磯	■ 1 年 前期
到達目標	1、Wbrdの基本操作	2 単位 32時数	
	2、ビジネス文書の作成習得 3、Wbrd文書処理技能認定試験3級の取得		
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	授業内容説明、Wbrd-基本操作		Wbrd2019基本編
2	文書編集 ビジネス文書の基本的な編集作業		Wbrd2019基本編
3	印刷設定・文書編集問題 ヘッダーフッター・印刷設定・文書編集を行い機能を習得する	ビジネス文書編集問題	Wbrd2019基本編
4	文書作成 ビジネス文書作成のためのテクニック		Wbrd2019基本編
5	文書作成問題 文書編集・文書作成をまとめた書類を作成する	ビジネス文書作成問題	Wbrd2019基本編
6	表を使った文書作成 表が入ったビジネス文書を作成し、表の使い方を習得する		Wbrd2019基本編
7	表を使った文書作成問題 表作成をメインに表の使い方を学ぶための問題を行っていく	表を使用したビジネス文書表作成問題	Wbrd2019基本編
8	図形や画像を使った文書の作成 ポスターやチラシなど、ビジネス文書以外の書類の作成	図形作成問題	Wbrd2019基本編
9	総合学習問題 Wbrd2019基本編第2部問題演習編	Wbrdの2019基本編テキストの総合問題	Wbrd2019基本編
10	Wbrd3級問題集 問題集の模擬問題1の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題1	Wbrd文書処理技能認定試験3級問題集
11	Wbrd3級問題集 問題集の模擬問題2の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題2	Wbrd文書処理技能認定試験3級問題集
12	Wbrd3級問題集 問題集の模擬問題3の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題3	Wbrd文書処理技能認定試験3級問題集
13	Wbrd3級問題集 問題集の模擬問題4の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題4	Wbrd文書処理技能認定試験3級問題集
14	Wbrd3級問題集 問題集の模擬問題5の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題5	Wbrd文書処理技能認定試験3級問題集
15	Wbrd3級問題集 問題集の模擬問題6の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題6	Wbrd文書処理技能認定試験3級問題集
16	最終テスト		

学校名: 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名: ITEビジネス学科
教科名: office基礎 (Excel)		小磯	■ 1 年 後期
到達目標	1、EXCELの基本操作	2 単位 32時数	
	2、EXCEL表・グラフ作成		
	3、基本的な関数の使い方を身につける	実務経験 情報システム企業勤務歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	Excel-入力方法・四則演算 全角半角での入力方法・四則演算・絶対参照		Excel 2019基本編
2	Excel-表の編集 罫線・列・行幅・表を完成		Excel 2019基本編
3	Excel-表の印刷と問題 ヘッダ・フッタの作成・印刷範囲の設定	表作成問題	Excel 2019基本編
4	Excel-グラフ作成・図形描画 表を元に棒グラフ・円グラフの作成		Excel 2019基本編
5	Excel-グラフ作成・図形描画問題 表作成・印刷設定・グラフ作成問題	表作成グラフ作成問題	Excel 2019基本編
6	Excel-ブック管理・ウィンドウ操作・データベース機能 ワークシートの操作・ウィンドウ枠の固定・並べ替え・抽出		Excel 2019基本編
7	Excel-関数 SUM/AVERAGE/MAX/MIN/COUNT/ROUND/IF/DATEDIF関数		Excel 2019基本編
8	Excel-関数問題 各関数を使用した表作成問題	関数問題	Excel 2019基本編
9	Excel-総合学習問題 Excel 2019基本編の表・グラフ・関数を使用した総合問題	Excel 2019基本編の総合問題	Excel 2019基本編
10	Excel-総合問題1(表・関数)	四則演算・SUM/AVERAGE関数を使用した表作成問題	
11	Excel-総合問題2(表・グラフ・関数)	グラフを含めた表作成問題	
12	Excel-総合問題3(表・関数)	ROUND関数を含めた表作成問題	
13	Excel-総合問題4(表・関数)	日付関数を含めた表作成問題	
14	Excel-総合問題5(表・関数)	IF関数を含めた表作成問題	
15	Excel-総合問題5(表・関数)	OR ANDを含めた複雑なIF関数を含めた表作成問題	
16	最終テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：ビジネスカラー		姫野	■ 1 年 前期
到達目標	1、色彩理論及び色彩心理学の基礎を理解し、色の意味、効果、影響力について 2、理論的に説明できるようにする。(占い、まじない、迷信などとの違いを明らかに)		2 単位 32時数
			実務経験 結婚式場・百貨店等の色彩指導
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	ビジネスカラーとは 色のイメージ	カラーを使う仕事を調べる クスマイトのカラーイメージ	
2	パーソナルカラーについて 1. 色彩心理学・生理学(人間の目と色の関係)	パーソナリティテスト・サブジェクトカラーテスト	
3	1. 色彩心理学・生理学(色彩心理学とは)	ドローイングカラーテスト	
4	1. 色彩心理学・生理学(色彩生理学とは)	色相環作成	
5	2. 目のしくみ パーソナルカラー診断	トーン図作成	
6	3. 光と色 パーソナルカラー診断	トーン図作成	
7	4. 混色「加法混色」と「減法混色」 パーソナルカラー診断	心理効果表作成	
8	5. 色の三属性・色のトーン	色相配色表作成	
9	6. 色の連想・イメージ(赤～緑)	トーン配色表作成	
10	6. 色の連想・イメージ(青～水色)	自分の個性のシーズンを確認	
11	6. 色の連想・イメージ(茶～グレー)	色の性質・イメージ	
12	色の心理効果(暖色・寒色、進出色・後退色)	色の性質・イメージ	
13	色の心理効果(膨張・収縮、軽重、硬軟)	色の性質・イメージ	
14	前期総復習	色彩理論中心に前期内容復習	
15	前期テスト		
16	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ビジネスカラー		姫野	■ 1 年 後期	
到達目標	1、色彩理論や色彩心理学に基づいて、ビジネスを構築する際に選択する色を理論的説明できるようにする。		2 単位 32時数	
	2、ビジネスカラージュニアアドバイザー資格を取得するための学習をする		実務経験 結婚式場・百貨店等の色彩指導	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	色彩理論復習	色の三属性・三原色 色の視覚効果		
2	基本の配色	基本の配色 (色相配色・トーン配色)		
3	ビジネスカラー配色	1. 誰もが心地よい、快適感を満喫できる配色		
4	ビジネスカラー配色	2. 目を惹き、刺激的で興奮を促す配色		
5	ビジネスカラー配色	3. 時代を動かすトレンド的な配色		
6	ビジネスカラー理論	ビジネス戦略ツールとしてのカラーを考える		
7	カラーマーケティングとは	カラーマーケティングと色彩心理		
8	カラーイメージスケール	言語によるイメージスケール作成		
9	カラーイメージスケール	季節のイメージスケール作成		
10	カラーイメージスケール	自由課題によるイメージスケール作成		
11	カラーコーディネート 演習	画像の色分析により、レイアウト、面積比を確認する		
12	カラーコーディネート 演習	ファッションイメージカラー・広告のイメージカラー ・空間のアクセントカラー		
13	ビジネスカラージュニアアドバイザー資格試験対策	過去問題による試験対策		
14	後期テスト	資格試験内容を踏まえた後期テスト		
15	ビジネスカラージュニアアドバイザー資格試験			
16	試験解説	資格試験内容解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：硬筆書写	岩下	■ 1 年 前期	
到達目標	1、文字の基本から学び読みやすい文章の書き方を学ぶ		2 単位 32時数
	2、履歴書の書き方 3、書写検定合格のポイント		実務経験 文科省書写検定審査委員
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	読みやすい文字を書くコツ①	文字を書くための基本	
	筆順	姿勢・持ち方・自分の名前の確認	
2	読みやすい文字を書くコツ②	自分の名前(配字配列)	
	筆順	感じのバランスの取り方を学ぶ①	
3	読みやすい文字を書くコツ③		
	筆順	感じのバランスの取り方を学ぶ②	
4	読みやすい文字を書くコツ④	片仮名の字源と特徴	
	部首	片仮名のバランスの取り方を学ぶ	
5	読みやすい文字を書くコツ⑤	片仮名の字源と特徴	
	部首	片仮名のバランスの取り方を学ぶ	
6	読みやすい文字を書くコツ⑥	縦書きの書式とバランス	
	常用漢字	活字から書き文字へ書き取り	
7	読みやすい文字を書くコツ⑦	横書きの書式とバランス	
	常用漢字	活字から書き文字へ書き取り	
8	読みやすい文字を書くコツ⑧	文字のバランスの取り方(まとめ)	
	常用漢字	縦書き・横書き(小テスト)	
9	読みやすい文字を書くコツ⑨	履歴書の書き方(下書き)	
		名前・漢字の書き取り練習	
10	読みやすい文字を書くコツ⑩	履歴書の書き方	
		履歴書を書くための書式とバランス	
11	読みやすい文字を書くコツ⑪	履歴書の書き方	
		添削を参考にまとめ	
12	書写検定合格のポイント①	横書き 第1・4問	
		～早書き・楷書～	
13	書写検定合格のポイント②	横書き 第1・4問	
		～早書き・楷書～	
14	書写検定合格のポイント③	はがきの表書き 第5問	
		～はがきの書式を学ぶ～	
15	書写検定合格のポイント④	はがきの表書き 第5問	
		～はがきの書式を学ぶ～	
16	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：硬筆書写		岩下	■ 1 年 後期	
到達目標	1、書写検定合格のポイント		2 単位 32時数	
	2、合格できる技能を身につける		実務経験	
	3、筆ペンで実用書を学ぶ		文科省書写検定審査委員	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	書写検定合格のポイント		書写理論	
	①横書きの書式と特徴		部首	
2	・早書き4分(第1問)			
	・横書き(第4問)漢字・平片仮名・数字・アルファベット		筆順	
3	②縦書きの書式と特徴			
	・楷書と行書の特徴		筆順	
4	・マス(第2問)			
	・縦書き(第3問)		草書のよみ	
5	③掲示文を書く			
	・B4サイズに油性マジックで書く		常用漢字	
6	・レイアウトとバランス(第6問)			
			常用漢字	
7	④はがきの表書き(復習)			
	・書式と文字のバランス(第5問)		まとめ①	
8	⑤復習(第1問～第6問)			
	・理論 過去問		まとめ②	
9	書写検定過去問題			
	・模擬①		評価1	
10	書写検定過去問題			
	・模擬②		評価2	
11	書写検定過去問題			
	・模擬③		評価3	
12	履歴書(復習)		評価4	
	書写検定の説明、その他			
13	筆ペンで実用書を学ぶ		検定の確認	
	・慶弔の表書き～慶事の書き方と由来			
14	筆ペンで実用書を学ぶ			
	・慶弔の表書き～弔事の表書きと由来			
15	筆ペンで実用書を学ぶ			
	・慶弔の表書き～慶事・弔事の表書き 小テスト・まとめ		評価5	
16	テスト			

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
Webアプリ 基礎A		デジタルLLC 宮原	■ 1年 前期	
到達目標	1、Webページを作成するために必要なHTMLの知識を習得する			2単位 32時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	HTMLの基本構造		基本構造、トップページ	
2	画像の表示		サンプルが脳の取得、トップページ	
3	リンクの設定		文字のリンクと画像のリンク、フォルダレベルが 下がった場合のリンク等の対応	
4	テーブルタグ		セルに画像のはめ込み	
5	映像と音声の表示		映像、音声を表示するwebページ	
6	プロトコルの概要		http, ftp, Filezilla	
7	中間テスト		筆記テスト HTMLの基本構造	
8	中間テスト 返却・解説		筆記テスト： HTMLの基本構造	
9	pet news 記事の選択		ベース記事の作成	
10	CSSによる記事の体裁		記事3 本完成、CSSによる 枠付き横並びの体裁	
11	記事ページの部品作成		タイトル、ナビゲーション、フッター作成	
12	記事ページの部品合成		記事とタイトル、ナビゲーション、フッターの作成	
13	記事サイトの作成		お知らせの追加	
14	アイキャッチの作成		Gfアニメーションを追加	
15	期末テスト		HTML +CSSの基本構造	
16	期末テスト 返却・解説			

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： Webアプリ 基礎B		デジタルLLC 宮原	■ 1年 後期	
到達目標	1、動きのあるWebページを作成するために必要なHTMLの知識を習得する。			2単位 32時数
	2、仮想的なNews記事を配信するホームページを制作できることを目標に実習を行う。			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	動きのあるWebページの制作		html 5 入門	
2	動きのあるWebページの制作		要素とCSS	
3	動きのあるWebページの制作		音声動画の取り扱い	
4	動きのあるWebページの制作		CSSによる要素の動的な制御	
5	動きのあるWebページの制作		JavaScriptによる動画の再生制御	
6	動きのあるWebページの制作		JavaScriptによる動画の再生制御	
7	動きのあるWebページの制作		テストページの制作	
8	中間テスト		実技テスト： テストページの要件評価	
9	シングルWebページ制作□		サイト構成とTopページの作成	
10	シングルWebページ制作□		Linkページの作成	
11	シングルWebページ制作□		ボタンを角丸にしてグラデーションをつける	
12	シングルWebページ制作□		サイトメニューを作成	
13	シングルWebページ制作□		Jpegアニメーションに変更	
14	シングルWebページ制作□		全体調整	
15	期末テスト		実技テスト： シングルWebページの要件評価	
16	中間・期末テスト 解説			

学校名: 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名: ITビジネス学科	
教科名: Webインフラ I		デジタルLLC 宮原	■ 1 年 前期	
到達目標	1、Webサーバーの公開に必要なOSの環境を作成し操作、運用を行う方法を習得する。			2単位 32時数
	2、サーバOSのコマンドコンソールを使用して機器制御の分野で活用されるプログラムの作成方法を習得する。			実務経験
	3、			ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	クール開始授業説明、到達点について		
2	サーバOS導入	ターミナル操作、OSインストール		
3	サーバOS導入	Linuxシステムの基本操作		
4	CLIによる操作	ファイルとディレクトリの操作		
5	CLIによる操作	コマンドラインとメタキャラクタ		
6	CLIによる操作	標準入出力と標準エラー出力		
7	CLIによる操作	ファイルの内容の表示と検索		
8	CLIによる操作	エディタ(vi)の使い方		
9	CLIによる操作	ファイルの編集		
10	セキュリティの設定	パーミッションとアクセス権		
11	ファイル操作	文字の置換		
12	ファイル操作	並べ替え		
13	ファイル操作	重複削除		
14	ファイル操作	抽出・整列・比較		
15	ファイル操作	文字列の検索		
16	スクリプト言語	シェルスクリプト		

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： ITパスポート		大庭	■ 1 年 前期	
到達目標	1、社会人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を解説			4 単位 64時数
	2、国家試験のITパスポート 試験の合格を目標とする			実務経験
	3、			ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	9 7-1 基礎理論、情報に関する理論		予想問題 7-1 ~7-8	
	2	7-2 アルゴリズムとプログラミング データ構造		
3		マークアップ言語		
	4	8章 8-1 コンピュータシステム		予想問題 8-1 ~8-14
5		8-2 コンピュータの構成要素		
	6	8-3 プロセッサ、記憶装置、入出力デバイス		
7		8-3 システムの構成		
	8	システムの構成要素		
9		8-4 ソフトウェア		
	10	ハードウェア		
11		9章 技術要素		予想問題9-1 ~9-36
	12	9-1 ヒューマンインターフェース		
13		9-2 マルチメディア技術		
	14	9-3 データベース		
15		9-4 データベース設計		
	16	9-5 データベース操作		
17		9-6 トランザクション処理		
	18	9-7 トランザクション処理		
19		9-8 ネットワーク方式		
	20	通信プロトコル		
21		9-9 ネットワーク応用		
	22	10章 10-1 情報セキュリティ		予想問題10-1 ~10-4
23		10-2 情報セキュリティ管理		
	24	10-3 情報セキュリティ対策		
25		前期試験対策		
	26	前期試験		
27		前期試験返却・解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：ITパスポート		大庭	■ 1年 後期	
到達目標	1、ITを活用するために必要なコンピュータ、経営戦略、マネジメント、ネットワークなど、 <input type="checkbox"/>			4単位 64時数
	幅広い知識を講義と問題演習により習得する。 <input type="checkbox"/>			実務経験
		3、幅広い知識を講義と問題演習により習得する。 <input type="checkbox"/>		
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	テクノロジー系		基礎理論 過去問	
2	テクノロジー系		基礎理論 過去問	
3	テクノロジー系		コンピュータシステム 過去問	
4	テクノロジー系		ハードウェア 過去問	
5	テクノロジー系		データベース・表計算 過去問	
6	テクノロジー系		ネットワーク 過去問	
7	テクノロジー系		情報セキュリティ 過去問	
8	ストラテジ系		企業活動・法務 過去問	
9	ストラテジ系		経営戦略 過去問	
10	ストラテジ系		技術戦略 過去問	
11	ストラテジ系		システム戦略 過去問	
12	マネジメント系		開発技術 過去問	
13	マネジメント系		プロジェクトマネジメント 過去問	
14	マネジメント系		サービスマネジメント 過去問	
15	マネジメント系		監査 過去問	
16	期末テスト・解説		筆記テスト：テクノロジー系・ストラテジ系	

学校名: 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名: ITビジネス学科	
教科名: データベース		堀川	■ 1 年 前期	
到達目標	1、関係演算の考え方とともに、RDBの実践的な操作方法を習得する。			2単位 32時数
	2、正規化、モデリング、論理設計、物理設計などデータ構造の表記や設計の方法を習得する。			実務経験
	3、SQL・正規化・ERDモデリングの概念を理解する。			ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	
1	DB操作言語		関係データモデル、主キー-外部キー video、db作成、select文	
	DB操作言語		抽出SQL(where in、>=、<=、!=、)	
2	DB操作言語		抽出SQL(order by、ascend、descend)	
	DB操作言語		抽出SQL(count(*), group by、)	
3	DB操作演習		都道府県、db作成、都道府県テーブルより人口密度の表示	
	DB操作演習		市町村テーブルより人口密度の表示	
4	DB操作演習		都道府県の人口密度を多い順に表示する	
	DB操作演習		市町村の人口が少ない順に県名も含めて表示する	
5	DB操作演習		簡単なSQL参照製菓の実習	
	DB操作演習		テーブル作成、データ投入、更新波及、削除波及、ビュー作成、実表と仮想表、ER図	
6	DB操作演習		ITパスポート 問題(顧客-売上)のDB実装	
	DB操作演習		販売DBのSQL展開、操作の実習	
7	DBサーバ導入		PostgreSQLサーバ導入、ネットワーク設定、CSE接続確認	
	DBサーバ導入		PostgreSQL、受注データベースの復元	
8	DB設計		正規化演習(注文書)→ERDモデリング→SQL作成	
	DB設計		正規化演習→SQL実装→導出項目復元エラー→再設計→第五正規形	
9	DBMS		参照制約の確認、トランザクション、排他制御	
	DBMS		ロック、正規化例題	
10	DB設計演習		I pass受注票→正規化→実装	
	DB設計演習		社員情報管理データベースの作成	
11	DB設計演習		社員情報管理データベースの実装	
	DB設計演習		DVD管理データベースの作成	
12	DB設計演習		DVD管理データベースの実装	
	DB設計演習		電話番号管理データベースの作成	
13	DB設計演習		電話番号管理データベースの実装	
	DB設計演習		電話番号管理データベースの実装	
14	DB設計演習		PC所有データベースの作成	
	DB設計演習		PC所有データベースの実装	
15	DB設計演習		筆記テスト: 抽出SQL・正規化とモデリング	
	DB設計演習		筆記テスト: 抽出SQL・正規化とモデリング	
16	期末テスト・解説			

学校名：専門学校九州スクール オブ ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
データベース		堀川	■ 1年 後期	
到達目標	1、関係演算の考え方とともに、RDBの実践的な操作方法を習得する。			2 単位 32時数
	2、正規化、モデリング、論理設計、物理設計などデータ構造の表記や設計の方法を習得する。 3、SQL・正規化・ERD/Eデリングを実装できる。			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	
1	DBシステムの構築演習		名簿管理DBの設計と実装	
			テーブル設計	
2	DBシステムの構築演習		物理DBの構築	
			データ入力とクエリの作成	
3	社員情報管理DB		社員原票の正規化	
	データモデリング		ERD/Eデリング	
4	社員情報管理DB		SQL-DDL概念データモデルの作成	
	データモデリング			
5	社員情報管理DB		データベースサーバ(PostgreSQL)の導入	
	Windowsサーバに実装		テーブル実装(概念スキーマ構築)	
6	社員情報管理DB		テストデータ入力	
	Windowsサーバに実装		社員原票を復元(外部スキーマ)するためのビューを作成	
7	社員情報管理DB		データベースサーバ(PostgreSQL)の導入	
	Linuxサーバに実装		テーブル実装(概念スキーマ構築)	
8	社員情報管理DB		テストデータ入力	
	Linuxサーバに実装		社員原票を復元(外部スキーマ)するためのビューを作成	
9	クラウド環境構築課題演習		要件定義、論理データモデル作成	
	社内図書管理システム			
10	DB設計		ERD/Eデリング	
11	DB設計		SQL-DDL概念データモデルの作成(テーブル設計)	
12	DB実装		テーブル実装(概念スキーマ構築)	
13	DB実装		テストデータ作成	
			テストデータ入力	
14	DB実装		外部スキーマ作成	
			ネットワークセキュリティ設定、権限付与	
15	システム実装		クライアントアプリケーションの導入	
			運用テスト	
16	期末テスト		実技テスト：社内図書管理システムの評価	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：アルゴリズム		堀川	■ 1 年 前期	
到達目標	プログラム作成において重要なアルゴリズムの考え方をパターン別に説明。 合計処理、ソート処理、カレンダー作成、探索処理フローチャートの作成に挑戦。			4単位 64時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	●アルゴリズムとは			
	フローチャート記号			
2	●表示処理	課題1		
	計算処理			
3	●合計処理	課題2		
4	●平均処理	課題3		
5	●判断処理(うろうう年判定)	課題4		
6	●繰り返し処理	課題5		
	読み書きの繰り返し			
7	●配列処理	課題6		
8	●ソート処理(基本選択法)	課題7		
9	●乱数作成	課題8		
10	●カレンダー作成	課題9		
11	●二重ループ処理(九九表作成)	課題10		
12	●魔方陣作成	課題11		
13	●探索処理	課題12		
14	●二分探索処理	課題13		
15	前期試験			
16	前期試験返却・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：アルゴリズム		堀川	■ 1年 後期	
到達目標	1、プログラミング技術を上達させるため、様々な視点でのアルゴリズムを習得させる。			4単位 64時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	繰り返し I～nまでの数和	テーマのフロートチャート作成		
2	順位付け			
3	ユークリッド互除法			
4	九九表計算 (配列使用版)			
5	万年カレンダー作成 (配列使用版)			
6	乱数			
7	ソート(分類) 基本選択法			
8	基本交換法 基本挿入法			
9	サーチ 線形探索			
10	二分探索			
11	再帰			
12	魔法陣作成			
13	バイオリズム作成			
14	バイオリズム作成			
15	まとめ			
16	後期試験・解説			

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： アルゴリズム		堀川	■ 2年 前期	
到達目標	1、基礎的なアルゴリズムを自ら作成できるスキルを身につける。		4単位 64時数	
	2、課題ごとにプログラム作成に必要なアルゴリズムを習得する。		実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	振り返り			
2	アルゴリズム応用	基礎課題1		
3	アルゴリズム応用	基礎課題2		
4	アルゴリズム応用	基礎課題3		
5	アルゴリズム応用	基礎課題4		
6	アルゴリズム応用	基礎課題5		
7	アルゴリズム応用	基礎課題6		
8	アルゴリズム応用	基礎課題7		
9	アルゴリズム応用	基礎課題8		
10	アルゴリズム応用	基礎課題9		
11	アルゴリズム応用	基礎課題10		
12	アルゴリズム応用	基礎課題11		
13	アルゴリズム応用	基礎課題12		
14	アルゴリズム応用	基礎課題13		
15	前期試験			
16	前期試験返却・解説			

学校名： 専門学校九州スクール オブ ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： アルゴリズム		堀川	■ 2年 後期	
到達目標	1、複雑なアルゴリズムを、自ら作成できるスキルを身につける。			4単位 64時数
	2、課題ごとにプログラム作成に必要なアルゴリズムを習得する。			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	振り返り			
2	アルゴリズム応用		応用課題1	
3	アルゴリズム応用		応用課題2	
4	アルゴリズム応用		応用課題3	
5	アルゴリズム応用		応用課題4	
6	アルゴリズム応用		応用課題5	
7	アルゴリズム応用		応用課題6	
8	アルゴリズム応用		応用課題7	
9	アルゴリズム応用		応用課題8	
10	アルゴリズム応用		応用課題9	
11	アルゴリズム応用		応用課題10	
12	アルゴリズム応用		応用課題11	
13	アルゴリズム応用		応用課題12	
14	アルゴリズム応用		応用課題13	
15	後期試験			
16	後期試験返却・解説			

学校名：専門学校九州スクール オブ ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
プログラミング言語		堀川	■ 1 年 前期	
到達目標	C言語能力認定試験3 級合格を目指し、基本的な文法・プログラム作成方法を取得する。			4単位 64時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	第1章 まずは慣れよう		課題第1章 1-1-1 ~ 1-1-3	
	1-1 表示 1-2 変数		1-2-1 ~ 1-2-5	
2	1-3 読み込み		課題第2章 2-1-1 ~ 2-1-3	
	第2章 演算と型 2-1 演算 2-2 型		2-2-1 ~ 2-2-3	
3	第3章 分岐 if文		課題第3章 3-1-1 ~ 3-1-3	
	第4章 繰り返し 4-2 while文		課題第4章 4-1-1 ~ 4-1-3	
4	4-3 for文 4-4 多重ループ		4-2-1 ~ 4-2-5	
	第5章 配列 5-1 配列		課題第5章 5-1-1 ~ 5-1-10	
5	5-1 配列		5-1-1 ~ 5-1-10	
	5-2 多次元配列		5-2-1 ~ 5-2-5	
6	第6章 関数 6-1 関数とは		課題第6章 6-1-1 ~ 6-1-8	
	6-2 関数の設計		6-1-1 ~ 6-1-8	
7	関数の設計		6-1-1 ~ 6-1-8	
	第8章 いろいろなプログラムを作ってみよう			
8	8-1 関数形式マクロ			
	8-2 ソート			
9	第9章 文字列の基本		課題第9章 9-1-1 ~ 9-1-9	
	9-1 文字列とは 9-2 文字列の配列			
10	9-3 文字列の操作		9-2-1 ~ 9-2-4	
	第10章 ポインタ 10-1 ポインタ		課題第10章 10-1-1 ~ 10-1-4	
11	10-2 ポインタと関数		10-2-1 ~ 10-2-6	
	10-3 ポインタと配列		10-3-1 ~ 10-3-6	
12	第11章 文字列とポインタ 11-1 文字列とポインタ		10-4-1 ~ 10-4-4	
	11-2 ポインタによる文字列の操作		10-5-1 ~ 10-5-4	
13	11-3 文字列を扱うライブラリ関数		10-6-1 ~ 10-6-7	
	第12章 構造体 12-1 構造体		課題第12章 12-1-1 ~ 12-1-4	
14	12-2 メンバとしての構造体		12-2-1 ~ 12-2-2	
	第13章 ファイル処理 13-1 ファイルとストリーム		12-3-1 ~ 12-3-4	
15	13-2 テキストとパイナリ		課題第13章 13-1-1、13-2-1 ~ 13-2-3	
	13-3 printf関数書式付入出力			
16	前期試験・試験解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：プログラミング言語		堀川	■ 1年 後期	
到達目標	1、Javaに関する基本的な知識を有し、簡単なプログラミングが書ける		4単位 64時数	
	2、オブジェクト指向について基本的な概念を理解する		実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	Java実行環境の設定	プログラム課題		
	第1章プログラムの書き方	1章		
2	第3章条件分岐	プログラム課題		
		3章		
3	第4章 配列	プログラム課題		
		4章		
4	第5章 メソッド	プログラム課題		
		5章		
5	第6章 複数クラスを用いた開発	プログラム課題		
		6章		
6	第7章 オブジェクト指向を始めよう	プログラム課題		
		7章		
7	第8章 インスタンスとクラス	プログラム課題		
		8章		
8	第8章 インスタンスとクラス	プログラム課題		
		8章		
9	第9章 さまざまなクラス機構	プログラム課題		
		9章		
10	クラス型と参照	プログラム課題		
		9章		
11	Javaプログラミング能力認定試験			
	過去問題1			
12	Javaプログラミング能力認定試験			
	過去問題2			
13	Javaプログラミング能力認定試験			
	過去問題3			
14	サンプル問題 I			
15	サンプル問題 II			
16	総まとめ			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
プログラミング言語		堀川	■ 2年 前期	
到達目標	Java言語にて順次処理、繰り返し処理、条件分岐処理の構文を自ら作成できる。			4単位 64時数
	Java検定試験合格			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	環境構築	プログラミング環境構築		
3	プログラム構造	命令について		
4	構文	変数		
5	構文	計算式		
6	構文	演算子と型変換		
7	演習	計算式(課題)		
8	中間テスト	筆記テスト		
		実技テスト		
9	導入授業	前クールの振り返り		
		次クールの授業説明		
10	構文	条件分岐		
11	構文	繰り返し		
12	構文	配列		
13	構文	メソッド		
14	演習	配列(課題)		
15	演習	メソッド(課題)		
16	最終テスト	筆記テスト		
		実技テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：プログラミング言語		堀川	■ 2年 後期	
到達目標	IDE(統合開発環境)を使用してGUIアプリケーションの効率的な作成方法を習得する。			4単位 64時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		授業説明、到達点、最終目標について	
2	開発環境構築		IDE導入	
3	開発環境構築		IDEの使用方法	
4	Windowsベースアプリケーション基礎		Swingの基本とJFrame	
5	Windowsベースアプリケーション基礎		テキストフィールドの実装	
6	Windowsベースアプリケーション基礎		Swingのイベントと処理を知る	
7	Windowsベースアプリケーション基礎		画像表示プログラム	
8	Windowsベースアプリケーション基礎		Dukeのジャグリングプログラム	
9	Windowsベースアプリケーション演習		エディタプログラムの作成	
10	Windowsベースアプリケーション演習		エディタプログラムの作成	
11	Windowsベースアプリケーション演習		エディタプログラムの作成	
12	Windowsベースアプリケーション演習		シーザ暗号プログラムの作成	
13	Windowsベースアプリケーション演習		シーザ暗号プログラムの作成	
14	Windowsベースアプリケーション演習		シーザ暗号プログラムの作成	
15	Windowsベースアプリケーション演習		シーザ暗号プログラムの作成	
16	最終テスト		筆記テスト	
			実技テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：情報セキュリティ I		デジタルLLC 宮原	■ 2年 前期	
到達目標	1、ネットワーク上の安全な通信経路を補確保するために必要な暗号化技術を講義とともに演習を通して習得する。□		4単位 64時数	
	2、ネットワーク接続におけるSSLの仕組みを習得する。 3、		実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	セキュリティとは	多層防御の考え方		
2	セキュリティとは	ネットワークとセキュリティ		
3	セキュリティとは	情報システムの安全管理		
4	セキュリティの実際	共通鍵暗号化方式		
5	セキュリティの実際	公開鍵暗号化方式		
6	セキュリティの実際	電子署名と暗号化、ハッシュアルゴリズム		
7	通信のセキュリティ	sshの鍵認証(SSL/TLSの仕組み)		
8	通信のセキュリティ	sshの鍵認証(SSL/TLSの仕組み)		
9	通信のセキュリティ	sshの鍵認証(SSL/TLSの仕組み)		
10	通信のセキュリティ	sshの鍵認証(SSL/TLSの仕組み)		
11	通信のセキュリティ	sshの鍵認証(SSL/TLSの仕組み)		
12	通信のセキュリティ	sshの鍵認証(SSL/TLSの仕組み)		
13	通信のセキュリティ	sshの鍵認証(SSL/TLSの仕組み)		
14	通信のセキュリティ	sshの鍵認証(SSL/TLSの仕組み)		
15	期末テスト	実技テスト：PKI環境の評価 公開鍵認証による接続の評価		
16	返却・解説			

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： 情報セキュリティ II		デジタルLLC 宮原	■ 2年 後期	
到達目標	1、サーバ接続時に必要なセキュリティ要件を演習を通して習得する。□			4単位 64時数
	2、サーバのセキュリティ対策の技法を習得する。			実務経験
	3、			ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		クール開始授業説明、到達点について	
2	Linuxサーバセキュリティ		ログイン画面の非表示	
3	Linuxサーバセキュリティ		セキュアコピー	
4	Linuxサーバセキュリティ		スーパーユーザコマンドの制限	
5	Linuxサーバセキュリティ		SELinux	
6	Linuxサーバセキュリティ		ファイヤーウォール(Ver6系)	
7	Linuxサーバセキュリティ		ファイヤーウォール(Ver7系)	
8	中間テスト		筆記テスト：実技テスト：ファイヤーウォールの状態評価	
9	サーバサイドセキュリティ		sshセキュリティシェルの設定	
10	サーバサイドセキュリティ		sshセキュリティシェルの設定	
11	サーバサイドセキュリティ		セキュリティログの調査	
12	サーバサイドセキュリティ		パスワードクラッキング	
13	Windowsサーバセキュリティ		デフォルトセキュリティポリシー	
14	Windowsサーバセキュリティ		ファイルスクリーンとシャドウコピー	
15	Windowsサーバセキュリティ		AQLと隠し共有	
16	最終テスト		筆記テスト：実技テスト：サーバの状態評価	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：基本情報処理対策1		大庭	■ 2年 前期	
到達目標	オブジェクト指向の考え方にに基づきJava言語を使用してプログラム作成を行う。			4単位 64時数
	クラスの設計を行いクラスを作成、そのテストクラスとして実行用クラスを作成。			実務経験
	Java言語を使用するオブジェクトプログラミング方法の取得を目指す。			ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	第7章 オブジェクト指向とは		課題7の実装	
2	第8章 インスタンスとクラス		課題8の実装	
3	クラスの定義			
	クラスの生成			
4	第9章 さまざまなクラス		課題9の実装	
	参照型			
5	コンストラクタ			
6	第10章 継承		課題10の実装	
	継承の基礎			
7	継承とコンストラクタ			
8	第11章 高度な継承		課題11の実装	
	抽象クラス			
9	インターフェース			
10	第12章 多態性		課題12の実装	
	多態性とは			
11	多態性のメリット			
12	第13章 カプセル化		課題13の実装	
	カプセル化の目的とメリット			
13	アクセス制御			
14	前期試験対策			
15	前期試験対策			
16	前期試験返却・解説			

学校名: 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名: ITビジネス学科	
教科名: 基本情報処理対策Ⅱ	大庭	■ 2 年 後期	
到達目標	1、クライアントサイドで稼働するJavaアプリケーションを開発する	4単位 64時数	
	2、クライアントに導入したJavaプログラムとネットワーク上のデータベースサーバが通信を行うアプリケーションを開発する 3、	2年前期 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	データベースサーバの構築	生産管理データベースのモデルを確認	
		SQL-DDL物理テーブル作成	
2	データベースサーバの構築	SQL-DML生産データ入力	
		SQL-DMLデータ抽出、内容確認	
3	Javaプログラム開発	1. 品目テーブルの表示とロックアンドフィール	
		データベースアクセスパラメータを修正しDB接続用部品を作成する	
4	Javaプログラム開発	すべてのJavaファイルを -d オプションつきでコンパイルする	
		QuerySwingViewControl を実行し品目テーブルの内容が出力されることを確認する	
5	Javaプログラム開発	2. 在庫テーブルの更新と削除	
		テーブル内容保持Bean(部品)を作成する	
6	Javaプログラム開発	在庫テーブル内容取得Bean(部品)を作成する	
		更新制御Controller(制御)を作成する	
7	Javaプログラム開発	削除追加機能付きView(QI表示)を作成する	
		3. DukeのJugglingの実装	
8	Javaプログラム開発	Jugglingアニメーション実行(スレッド)と実行制御Controller(制御)を作成する	
9	Swingプログラム開発	4. コントロールパネルの設計	
		DatabaseServerIPを指定するテキストフィールドを作成する	
10	Swingプログラム開発	ログイン(接続)機能を実現するための項目フィールドを作成する	
		5. コントロールパネルの実装	
11	Swingプログラム開発	コンソール起動用ボタン、Window消去ボタンを作成する	
		アイコンツールバー(ツールチップ付き)を作成する	
12	Swingプログラム開発	6. コンソール表示	
		ソースコード中の System.out.println を出力するコンソールWindowを作成する	
13	Swingプログラム開発	7. 見込み生産計画入力	
		基準生産計画(MPS)を入力するアプリを作成する	
14	Swingプログラム開発	期間と計画品目はドロップダウンリストから選択できるようにする	
		MPSテーブルの内容を表示するアプリを作成する	
15	期末テスト	カレンダーを作成する	
		実技テスト: MPSアプリの状態を評価	
16	期末テスト 返却・解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：オブジェクト指向プログラミング		堀川	■ 2年 後期	
到達目標	1、オブジェクト指向プログラミングに必要な概念と実態、継承と多態、情報の隠蔽について実装の方法を習得する			4単位 64時数
	2、IDE環境でプログラミングを行う。			実務経験
	3、IDE環境を使用してOSに依存しないオブジェクト指向プログラムの作成方法を習得する。			ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	環境構築	プログラミング環境構築		
2	前提知識	基本構文の復習		
3	構文	クラスとインスタンス		
4	構文	インターフェース		
5	構文	スーパークラスとサブクラス		
6	構文	例外		
7	構文	ガーベッジコレクション		
8	構文	スレッド		
9	構文	パッケージ		
10	構文	ファイル操作		
11	構文	ネットワークプログラムの制作(PingSt.dout)		
12	構文	ネットワークプログラムの制作(PingSt.dout)		
13	構文	ネットワークプログラムの制作(PingSt.dout)		
14	構文	ネットワークプログラムの制作(PingSt.dout)		
15	期末テスト	実技テスト：例外処理の実装		
		応答要求プログラムの制作		
16	期末テスト・返却			

学校名: 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名: ITビジネス学科	
教科名: オブジェクト指向プログラミング		堀川	■ 2年 前期	
到達目標	人間が分かり易いように「現実世界のモノをそのままモデリングしたもの」を作成していくという考え方のオブジェクト指向を使用したプログラムの作成方法を取得する			4単位 64時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	第7章 オブジェクト指向とは		課題7	
			Book.class ExecBook.java	
2	第8章 インスタンスとクラス		課題8	
			Account.java ExecAccount.java	
3	クラスの定義		Accountクラスの拡張	
	クラスの生成			
4	第9章 さまざまなクラス		課題9	
	参照型		Tri angle.java、ExecTri angle.java	
5	コンストラクタ		Book.java、Tri angle.javaの拡張	
6	第10章 継承		課題10	
	継承の基礎		Student.java、ExecStudent.java	
7	継承とコンストラクタ			
8	第11章 高度な継承		課題11 約分メソッドを利用して通分	
	抽象クラス		分数クラスの作成	
9	インターフェース			
10	第12章 多態性		課題11 約分メソッドを利用して通分	
	多態性とは		分数クラスの作成	
11	多態性のメリット			
12	第13章 カプセル化		課題12 toStringメソッド追加	
	カプセル化の目的とメリット		分数クラスの作成	
13	アクセス制御			
14	前期試験対策			
15	前期試験対策			
16	前期試験返却・解説			

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： DX		宮原	■ 2 年 前期	
到達目標	1、DXの基礎を理解			4単位 64時数
	2、DXのすすめる手法を理解			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	DXの基本		DXの基礎用語や事例	
2	演習		DXについて考える	
3	演習		DXについて考える	
4	日本のDXの現状			
5	演習		DXと日本政府・自治体について考える	
6	演習		DXと日本政府・自治体について考える	
7	DXを支えるデジタル技術		IoT、ビッグデータ、AI、ロボット	
8	演習		デジタル技術の活用について考える	
9	演習		デジタル技術の活用について考える	
10	業界の破壊的な再編を引き起こすディスラプション		ディスプレイター、プラットフォーマー、 マルチサイドプラットフォーム、エコシステム	
11	演習		各業界のDXについて考える	
12	演習		各業界のDXについて考える	
13	演習		各業界のDXについて考える	
14	前期試験対策			
15	前期試験			
16	前期試験返却・解説			

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： DX		宮原	■ 2年 後期	
到達目標	1、デジタル戦略の策定			4単位 64時数
	2、DXに必要な人材になる。			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	成功事例から学ぶデジタル戦略			
2	演習		DX戦略を考える	
3	演習		DX戦略を考える	
4	デジタル戦略の検討手法			
5	演習		デジタル戦略を考える	
6	演習		デジタル戦略を考える	
7	変革のプロセス			
8	演習		企業のDXの進め方について考える	
9	演習		企業のDXの進め方について考える	
10	未来予測とこれからの仕事			
11	演習		日本社会の課題について考える	
12	演習		日本社会の課題について考える	
13	演習		日本社会の課題について考える	
14	後期試験対策			
15	後期試験			
16	後期試験返却・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：webサイト用プログラミング言語 I		宮原	■ 2年 前期	
到達目標	総合開発環境を使用してOSに依存しないWindowsベースのアプリケーションプログラムの作成方法を習得する。			4単位 64時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達目標		
2	統合開発環境とGUIプログラミング	JavaSDK8 + IDE(ECLI PSE)		
3	Windowsフレーム作成	JavaSDK8 + IDE(ECLI PSE)		
4	コンポーネントの作成	JavaSDK8 + IDE(ECLI PSE)		
5	テキストフィールドの実現	JavaSDK8 + IDE(ECLI PSE)		
6	イベント処理	JavaSDK8 + IDE(ECLI PSE)		
7	イベント処理(課題実習)	JavaSDK8 + IDE(ECLI PSE)		
8	課題実習 試験	JavaSDK8 + IDE(ECLI PSE) 筆記テスト		
9	ToDoリストの作成	JavaSDK8 + IDE(ECLI PSE)		
10	テキストビューアの作成	JavaSDK8 + IDE(ECLI PSE)		
11	画像ビューアの作成	JavaSDK8 + IDE(ECLI PSE)		
12	キーボードアクションの取得	JavaSDK8 + IDE(ECLI PSE)		
13	アニメーションの表示	JavaSDK8 + IDE(ECLI PSE)		
14	メモ帳アプリの作成(入力・編集)	JavaSDK8 + IDE(ECLI PSE)		
15	メモ帳アプリの作成(保残・削除)	JavaSDK8 + IDE(ECLI PSE)		
16	課題実習 試験	JavaSDK8 + IDE(ECLI PSE) 筆記テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：webサイト用プログラミング言語Ⅱ		宮原	■ 2年 後期	
到達目標	1、Windows系サーバにおけるサイドプログラムの作成方法を習得しWeb検索アプリケーションを作成する。		4単位 64時数	
			実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		授業説明、到達目標	
2	プログラミング環境構築		II S+ASP	
3	基本構文		II S+ASP	
4	データの受け渡し		II S+ASP	
5	フォワード		II S+ASP	
6	セクションの継続		II S+ASP	
7	クッキーの読み書き		II S+ASP	
8	課題実習 中間テスト		II S+ASP 筆記試験	
9	データベース接続とレコード表示		II S+Tomcat	
10	Webページとデータベース連携		II S+Tomcat	
11	ログインプロセス		II S+Tomcat	
12	セッション継続のログインプロセス		II S+Tomcat	
13	Web検索アプリケーションの設計		II S+Tomcat	
14	Web検索アプリケーションの実装		II S+Tomcat	
15	Web検索アプリケーションの実装		II S+Tomcat	
16	課題実習 最終試験		II S+Tomcat 筆記試験	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：ビジネス実務マナー		堂上	■ 2年 前期	
到達目標	1、検定3級合格			単位 時数
	2、社会人として役に立つ知識を修得			実務経験
	3、マナーを通して人間力を高める			放送局勤務歴有・コンサル業務
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	授業内容の発表			
	・実務ガイド本より			
2	ビジネスマンとしての資質	課題テスト 有り		
	・執務要件、(まとめ)シート			
3	組織の機能	・過去問題より		
	・業務分担、職制			
4	全体マナー	テキスト 仕上げ		
5	文書(社内)	課題テスト 有り		
	・知識+事務用品			
6	文書(社外)	課題テスト 有り		
	・知識+a			
7	復習 1	課題テスト 有り		
8	復習 2	課題テスト 有り		
9	過去問題	課題テスト 有り		
10	過去問題	課題テスト 有り		
11	過去問題	課題テスト 有り		
12	過去問題	課題テスト 有り		
13	過去問題	課題テスト 有り		
14	単位試験 実施			
15	単位試験 振り返り			
	過去問題			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：ビジネス実務マナー□		堂上	■ 2年 後期	
到達目標	1、接客対応の実績を事例を参考に、ロールプレイにより身につける		単位 時数	
	2、おもてなしの心とかたちを習得する		実務経験	
	3、多様なクレームに対応できる知識		放送局勤務歴有・コンサル業務	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	クレーム開始授業説明、到達点について		
2	電話の受電スキル	前期の復習 発生練習 電話対応		
3	売り出し訓練	グループワークでスクリプト(台本)づくり		
4	売り出し訓練	グループワーク スクリプト作成		
5	売り出し訓練	グループで発表 ケーススタディー		
6	プレゼン訓練	商品の説明、解説、買う気にさせる話し方		
7	プレゼン訓練	商品の説明、解説、買う気にさせる話し方		
8	中間評価	内容評価: レポート提出と発表頻度 授業への積極的な関わり/チームの役割		
9	クレーム対応	多種多様なクレームについて、基本的な対応方法を知る		
10	クレーム対応	①心情理解・お詫び②原因・事実確認③代替案・解決策の提示 ④再度のお詫び、感謝ロールプレイングで実践演習		
11	クレーム対応	詫び状の書き方(参考例3パターン)各自の業種の 事例を想定し記入		
12	3分間スピーチ	朝礼を想定し話す内容を各自で考え発表		
13	マイプレゼン	通学の仕方、休日の過ごし方、ランチのお店など自分が知っている情報を SNSスタイルで報告。自己紹介、5W1H端的に、分かりやすく		
14	企画からプレゼン	グループワーク KSB卒業旅行の企画 (全学科が楽しめる思い出に残る旅行のアイデア)		
15	企画からプレゼン	グループワーク KSB卒業旅行の企画プレゼン		
16	最終評価	内容評価: レポート提出/授業への積極的な関わり/チームの役割		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：スキルアップ I		堀川	■ 1年 前期	
到達目標	1年前期履修カリキュラムの復習・サポート 授業実施 業界EXPOまでのサポート オンライン留学の実施から個々の視野を広げる			2単位 32時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	講義・実技	成績評価の方法・基準		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	前期授業振り返り	教科ごとのカリキュラムを再確認		
		履修状況確認		
2	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート		
		個別指導		
3	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート		
		個別指導		
4	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート		
		個別指導		
5	復習とスキルアップ	前期内容を元に実習・講義		
		個別指導		
6	復習とスキルアップ	前期内容を元に実習・講義		
		個別指導		
7	就職指導	業界EXPO準備		
		個別指導		
8	就職指導	業界EXPO準備		
		個別指導		
9	オンライン留学プログラム	AI Cオンライン留学		
		ビジネス分野		
10	オンライン留学プログラム	AI Cオンライン留学		
		IT分野		
11	オンライン留学プログラム	AI Cオンライン留学		
		ペット分野		
12	オンライン留学プログラム	AI Cオンライン留学		
		スポーツビジネス分野		
13	オンライン留学プログラム	AI Cオンライン留学		
		ファッション分野		
14	オンライン留学プログラム	AI Cオンライン留学		
		学生交流会		
15	オンライン留学プログラム	AI Cオンライン留学		
		まとめ		
16	前期まとめ	前期振り返り		
		後期に向けての目標等		

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科
教科名： スキルアップⅡ		堀川	■ 2年 後期
到達目標			2単位 32時数
			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	講義・実技	成績評価の方法・基準	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	1年授業振り返り	教科ごとのカリキュラムを再確認	
		履修状況確認	
2	1年授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート	
		個別指導	
3	1年授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート	
		個別指導	
4	1年授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート	
		個別指導	
5	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
6	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
7	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
8	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
9	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
10	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
11	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
12	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
13	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
14	就職サポートとキャリアアップ	就職・キャリアアップを目指した	
		個別指導	
15	就職サポートとキャリアアップ	就職・キャリアアップを目指した	
		個別指導	
16	後期まとめ	振り返り	
		就職に向けての目標等	

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： 特別補講		堀川	■ 1年 後期	
到達目標	Accessデータベースを作成できる。			2単位 32時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	データベースアプリケーションの理解			
2	リレーションシップ			
3	クエリー① 削除、抽出、更新			
4	クエリー② 集計、クロス			
5	クエリー②			
6	フォームの作成			
7	フォームの作成			
8	マクロの作成			
9	フォームの作成			
10	バッチ処理の作成			
11	レポートの作成			
12	レポートの作成			
13	演習①			
14	演習②			
15	演習③			
16	期末テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：特別補講		堀川	■ 2年 後期	
到達目標	1、Excel VBAの習得			4単位 64時数
	2、			実務経験
	3、			ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	概要 マクロとVBA、マクロ操作			
	VBEとは			
2	関数1 四則演算、日付時刻操作			
	文字列操作			
3	確認問題1 変数			
4	確認問題2 条件分岐			
5	確認問題3 関数2			
6	確認問題4 繰り返し			
7	確認問題5 成果物作成			
8	成果物作成			
9	概要、フローチャート、フローチャート 実習問題			
10	デバック技術、セル操作、確認問題6			
11	書式設定、確認問題7、ワークシート 操作			
12	データベース操作 確認問題8			
13	ユーザーフォーム、Subプロシージャ			
14	Functionプロシージャ、確認問題8			
	確認問題9			
15	確認問題10			
	成果物作成			
16	期末テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：英会話（オンライン）		AIC	■ 1年 前期	
到達目標	日常会話を英語でTRYし身につける□ 各回のレベルチェックに合格次第次のレベルに進み、最終レベルまで到達する			2単位 32時数
				実務経験 カリフォルニア大学講師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	授業オリエンテーション	接続チェック・ログイン・アカウント確認		
		受講方法の確認		
2	AIオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 1	チェックを受ける段階で報告		
3	AIオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 2	チェックを受ける段階で報告		
4	AIオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 3	チェックを受ける段階で報告		
5	AIオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 4	チェックを受ける段階で報告		
6	AIオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 5	チェックを受ける段階で報告		
7	AIオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 6	チェックを受ける段階で報告		
8	AIオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 7	チェックを受ける段階で報告		
9	AIオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 8	チェックを受ける段階で報告		
10	AIオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 9	チェックを受ける段階で報告		
11	AIオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 10	チェックを受ける段階で報告		
12	AIオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 11	チェックを受ける段階で報告		
13	AIオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 12	チェックを受ける段階で報告		
14	AIオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 13	チェックを受ける段階で報告		
15	AIオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 14	チェックを受ける段階で報告		
16	AIオンライン英会話	レベルチェック		
	まとめ			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：英会話(オンライン)		AIC	■ 1年 後期	
到達目標	日常会話を英語でTRYし身につける口 各回のレベルチェックに合格次第次のレベルに進み、最終レベルまで到達する			2単位 32時数
				実務経験 カリフォルニア大学講師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	授業オリエンテーション	接続チェック・ログイン・アカウント 確認		
		受講方法の確認		
2	AI Cオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 1	チェックを受ける段階で報告		
3	AI Cオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 2	チェックを受ける段階で報告		
4	AI Cオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 3	チェックを受ける段階で報告		
5	AI Cオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 4	チェックを受ける段階で報告		
6	AI Cオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 5	チェックを受ける段階で報告		
7	AI Cオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 6	チェックを受ける段階で報告		
8	AI Cオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 7	チェックを受ける段階で報告		
9	AI Cオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 8	チェックを受ける段階で報告		
10	AI Cオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 9	チェックを受ける段階で報告		
11	AI Cオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 10	チェックを受ける段階で報告		
12	AI Cオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 11	チェックを受ける段階で報告		
13	AI Cオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 12	チェックを受ける段階で報告		
14	AI Cオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 13	チェックを受ける段階で報告		
15	AI Cオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 14	チェックを受ける段階で報告		
16	AI Cオンライン英会話	レベルチェック		
	まとめ			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：英会話(オンライン)		AIC	■ 2年 前期	
到達目標	日常会話を英語でTRYし身につける口 各回のレベルチェックに合格次第次のレベルに進み、最終レベルまで到達する			2単位 32時数
				実務経験 カリフォルニア大学講師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	授業オリエンテーション	接続チェック・ログイン・アカウント確認		
		受講方法の確認		
2	AI オンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 1	チェックを受ける段階で報告		
3	AI オンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 2	チェックを受ける段階で報告		
4	AI オンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 3	チェックを受ける段階で報告		
5	AI オンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 4	チェックを受ける段階で報告		
6	AI オンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 5	チェックを受ける段階で報告		
7	AI オンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 6	チェックを受ける段階で報告		
8	AI オンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 7	チェックを受ける段階で報告		
9	AI オンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 8	チェックを受ける段階で報告		
10	AI オンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 9	チェックを受ける段階で報告		
11	AI オンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 10	チェックを受ける段階で報告		
12	AI オンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 11	チェックを受ける段階で報告		
13	AI オンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 12	チェックを受ける段階で報告		
14	AI オンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 13	チェックを受ける段階で報告		
15	AI オンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 14	チェックを受ける段階で報告		
16	AI オンライン英会話	レベルチェック		
	まとめ			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：英会話(オンライン)		AIC	■ 2年 後期	
到達目標	日常会話を英語でTRYし身につける 各回のレベルチェックに合格次第次のレベルに進み、最終レベルまで到達する			2単位 32時数
				実務経験 カリフォルニア大学講師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	授業オリエンテーション	接続チェック・ログイン・アカウント確認 受講方法の確認		
2	AICオンライン英会話 Lesson 1	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
	AICオンライン英会話 Lesson 2	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
3	AICオンライン英会話 Lesson 3	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
	AICオンライン英会話 Lesson 4	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
4	AICオンライン英会話 Lesson 5	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
	AICオンライン英会話 Lesson 6	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
5	AICオンライン英会話 Lesson 7	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
	AICオンライン英会話 Lesson 8	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
6	AICオンライン英会話 Lesson 9	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
	AICオンライン英会話 Lesson 10	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
7	AICオンライン英会話 Lesson 11	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
	AICオンライン英会話 Lesson 12	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
8	AICオンライン英会話 Lesson 13	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
	AICオンライン英会話 Lesson 14	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
9	AICオンライン英会話 Lesson 15	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
	AICオンライン英会話 Lesson 16	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
10	AICオンライン英会話 Lesson 17	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
	AICオンライン英会話 Lesson 18	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
11	AICオンライン英会話 Lesson 19	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
	AICオンライン英会話 Lesson 20	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
12	AICオンライン英会話 Lesson 21	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
	AICオンライン英会話 Lesson 22	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
13	AICオンライン英会話 Lesson 23	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
	AICオンライン英会話 Lesson 24	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
14	AICオンライン英会話 Lesson 25	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
	AICオンライン英会話 Lesson 26	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
15	AICオンライン英会話 Lesson 27	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
	AICオンライン英会話 Lesson 28	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
16	AICオンライン英会話 まとめ	レベルチェック		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： I Tビジネス学科	
教科名：キャリアガイダンス		江川 雅美	■ 1年 前期	
到達目標	・ 自分発見(ワークを通して自分と向き合うことで気づきを促し「自分発見」に繋げる)			2単位 32時数
	・ 企業リサーチ ・ PR動画作成の準備			実務経験 心理カウンセラー/人材育成勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業 (授業の進め方、成績のつけ方など説明)	授業の内容を理解し、就職に向けた取り組み を理解する		
2	就職までの流れ 自己理解1(ビヘイビアタイプ、エゴグラム)	自己理解とはどのようなことかを知る 素直に受け止める力を身につける		
3	自己理解2(願望の発見、自分はどんな人?)	自己理解 今まで考えてこなかったことを実際に具体化する		
4	自己理解3(欲望チェック)	自分の欲望がどのくらい存在しているか確認 無い人は欲を出すことの必要性を知る		
5	自己理解4(他信)	周りから見た自分を知る 素直に前向きに受け止める力を養う		
6	自己イメージの確立1 (現在のライフスタイル、理想の自分、こころの地図)	今の自分を客観的に見て理想とのかけ離れが無いか自己分析 理想を明確にし、目標を設定する		
7	自己イメージの確立2 (価値のリレーション)	価値とは何かを理解する		
8	アピールポイント (振り返って自分についてまとめる)	表現力の強化		
9	自分の方向性・優先順位と企業の選び方 企業リサーチとは、リサーチの仕方・ポイント	基本的な流れを理解し、行動する		
10	挨拶、礼儀、マナーなど①	対人からの見え方、受ける印象を理解する		
11	挨拶、礼儀、マナーなど②	心地よい挨拶、印象に残るなど社会人スキルと言われる ことは何かを理解する		
12	希望企業の選定(5社くらいに絞る)			
13	PR動画撮影に向けて① (自己PR、好きな教科、趣味・特技など作ってみる)			
14	PR動画撮影に向けて② (PR動画の構成を考える(内容や作品など))			
15	PR動画撮影に向けて③ (構成に合わせてスピーチ内容を練り直し)			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：キャリアガイダンスⅡ		江川 雅美	■ 1年 後期	
到達目標	・ PR動画を作成する		2 単位 32時数	
	・ 業界EXPOの為の準備		実務経験	
	・ 就職試験、面接、オンライン面接の対策		心理カウンセラー/人材育成勤務歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	PR動画用の自己PR修正、作品準備			
2	PR動画撮影①			
3	PR動画撮影②			
4	業界EXPO対策① (マナー、話し方、聞き方など)			
5	業界EXPO対策② (企業に質問したいことなどを考える)			
6	就職試験(筆記)対策① (過去問など)			
7	就職試験(筆記)対策② (過去問など)			
8	集中授業 (補強が必要と思われる分野をする)			
9	面接対策① (対策シート 作成)			
10	面接対策② (対策シート 練り直し)			
11	オンライン面接対策① (オンライン面接時の注意点など)			
12	オンライン面接対策② (オンライン面接の体験)			
13	希望企業リサーチ (企業に質問したいことなどを考える)			
14	希望企業リサーチ (企業に質問したいことなどを考える)			
15	希望企業リサーチ (企業に質問したいことなどを考える)			
16				

学校名: 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名: ITビジネス学科
教科名: リクルートナビゲーション		江川 雅美	■ 2年 前期
到達目標	・ 社会人になってからのビジネスマナーを身につける		2 単位 32時数
	・ 会社に入ってからの仕事を模擬体験する～テーマに沿ったイベントの企画をチームに分かれて行う～		実務経験
	・ 就職活動に対しての自己の課題理解、対策、対応ができる口		心理カウンセラー/人材育成勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業(授業の進め方、成績のつけ方など説明)口 個別面談(各個人の状況の確認、春休みの活動報告)口		
2	イベントのテーマ決め 就職指導(個別対応)口		
3	企画の内容決め 就職指導(個別対応)口		
4	チーム決め、担当割り 就職指導(個別対応)口		
5	イベント企画① チームごと 就職指導(個別対応)口		
6	イベント企画② チームごと 就職指導(個別対応)口		
7	イベント企画③ チームごと 就職指導(個別対応)口		
8	イベント企画④ チームごと 就職指導(個別対応)口		
9	イベント企画⑤ チームごと 就職指導(個別対応)口		
10	プレゼン準備① 就職指導(個別対応)口		
11	プレゼン準備② 就職指導(個別対応)口		
12	プレゼン・投票 就職指導(個別対応)口		
13	イベント詳細事項①(実行する程です) 就職指導(個別対応)口		
14	イベント詳細事項②(実行する程です) 就職指導(個別対応)口		
15	振り返り・改善点 個別面談(各個人の状況の確認)口		
16			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：リクルートナビゲーション		江川 雅美	■ 2年 後期	
到達目標	・ 就職活動に対しての自己の課題理解、対策、対応ができる口			2 単位 32時数
				実務経験 心理カウンセラー/人材育成勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	個別面談(各個人の状況の確認)口			
2	就職指導(個別対応)			
3	就職指導(個別対応)			
4	就職指導(個別対応)			
5	就職指導(個別対応)			
6	就職指導(個別対応)			
7	就職指導(個別対応)			
8	就職指導(個別対応)			
9	就職指導(個別対応)			
10	就職指導(個別対応)			
11	就職指導(個別対応)			
12	就職指導(個別対応)			
13	就職指導(個別対応)			
14	就職指導(個別対応)			
15	個別面談(各個人の状況の確認)			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：ホームルーム		北島	■ 1年 前期	
到達目標	1、社会性を身につける			2単位 32時数
	2、コミュニケーション力を身につける			実務経験
	3、			ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	自己紹介・他己紹介		コミュニケーション	
	自分、相手について話することができる		オリエンテーション	
2	学校見学		グループワーク	
	学校に慣れる			
3	時間割、教科書、教材の確認		時間割をみる	
	時間割を見て行動できる		授業の準備ができる	
4	資材店見学		実店舗へ行き、材料を調べる	
	花の道具を準備できる			
5	花店見学		花の名前や店の名前を調べる	
	花店の違いや季節の花を調べる			
6	1・2年交流会		コミュニケーション力を発揮する	
7	業界EXPOにむけて		企業について調査する	
	企業調査			
8	業界EXPOにむけて		自分について考える	
	自己PR			
9	業界EXPOにむけて		自分について考える	
	自己PR			
10	業界EXPOにむけて		身だしなみ、メイクを整える	
	身だしなみ、写真撮影			
11	面接にむけて		企業について詳しく調べる	
	企業調査		過去の面接からの対策	
12	面接にむけて		企業について詳しく調べる	
	過去分析		過去の面接からの対策	
13	面接にむけて		対面	
	面接練習			
14	面接にむけて		ZOOM練習	
	面接練習			
15	面接にむけて		ZOOM練習	
	面接練習			
16	面接にむけて		グループディスカッション	
	面接練習			

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： ホームルーム		北島	■ 1年 前期	
到達目標	1、社会性を身につける			2単位 32時数
	2、コミュニケーション力を身につける			実務経験
	3、面接の準備をする			ITプログラマ職歴有
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	面接対策		お礼状、メールの返信文を作ることができる	
	お礼状の書き方やメールの返信について			
2	面接対策		企業の求めている人材について考えをまとめる	
	企業によって面接内容を考える			
3	面接対策			
	面接練習		面接官にアピールできる	
4	面接対策			
	面接練習		面接官にアピールできる	
5	面接対策			
	面接練習		確認	
6	面接対策		コミュニケーション力を発揮する	
	面接練習			
7	面接対策			
	面接練習			
8	面接対策			
	面接練習			
9	面接対策			
	面接練習			
10	面接対策			
	面接練習			
11	面接対策			
	面接練習			
12	面接対策			
	面接練習			
13	面接対策			
	面接練習			
14	面接対策			
	面接練習			
15	面接対策			
	面接練習			
16	面接対策			
	面接練習			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：ホームルーム		北島	■ 2年 前期	
到達目標	社会人としての心構えを備え、前向きに考える力を身につける 就職未決者・内定者の個別対応を行い自己肯定感を養う			2単位 32時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	面接対策			
	面接練習			
2	面接対策			
	面接練習			
3	面接対策			
	面接練習			
4	面接対策			
	面接練習			
5	面接対策			
	面接練習			
6	面接対策			
	面接練習			
7	面接対策			
	面接練習			
8	面接対策			
	面接練習			
9	面接対策			
	面接練習			
10	面接対策			
	面接練習			
11	面接対策			
	面接練習			
12	面接対策			
	面接練習			
13	面接対策			
	面接練習			
14	面接対策			
	面接練習			
15	面接対策			
	面接練習			
16	面接対策			
	面接練習			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名：ホームルーム		北島	■ 2年 後期	
到達目標	社会人としての心構えを備え、前向きに考える力を身につける 就職未決者・内定者の個別対応を行い自己肯定感を養う			2単位 32時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	面接対策			
	面接練習			
2	面接対策			
	面接練習			
3	面接対策			
	面接練習			
4	面接対策			
	面接練習			
5	面接対策			
	面接練習			
6	面接対策			
	面接練習			
7	面接対策			
	面接練習			
8	面接対策			
	面接練習			
9	面接対策			
	面接練習			
10	面接対策			
	面接練習			
11	面接対策			
	面接練習			
12	面接対策			
	面接練習			
13	面接対策			
	面接練習			
14	面接対策			
	面接練習			
15	面接対策			
	面接練習			
16	後期まとめ			

学校名： 専門学校九州スクール オブ ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： ワーキング・スタディ		北島	■ 1年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う			6単位 96時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： ワーキング・スタディ		北島	■ 1年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う	6単位 96時数		
		実務経験 ITプログラマ職歴有		
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： ワーキング・スタディ		北島	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う			6単位 96時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： ワーキング・スタディ		北島	■ 2年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う			6単位 96時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： 企業研修A		北島	■ 1年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う。			8単位 128時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科
教科名： 企業研修A		北島	■ 1年 後期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う□	8単位 128時数	
		実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： 企業研修A		北島	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う。			8単位 128時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： 企業研修A		北島	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う□		8単位 128時数	
			実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名： 専門学校九州スクール オブ ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科
教科名： 企業研修B		北島	■ 1年 前期
到達目標	IT企業に求められる、IT技術者としてのビジネスコミュニケーションを身につける。		8単位 128時数
			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名： 専門学校九州スクール オブ ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： 企業研修B		北島	■ 1年 後期	
到達目標	IT企業に求められる、IT技術者としてのビジネスコミュニケーションを身につける。		8単位 128時数	
			実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科
教科名： 企業研修B		北島	■ 2年 前期
到達目標	IT企業に求められる、IT技術者としてのビジネスコミュニケーションを身につける。	8単位 128時数	
		実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科
教科名： 企業研修B		北島	■ 2年 前期
到達目標	IT企業に求められる、IT技術者としてのビジネスコミュニケーションを身につける。	8単位 128時数	
		実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： 企業研修C		北島	■ 1年 後期	
到達目標	システム開発全体の流れを理解し実践できる業務能力を身に付ける。			16単位 256時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： 企業研修C		北島	■ 2年 前期	
到達目標	システム開発全体の流れを理解し実践できる業務能力を身に付ける。		16単位 256時数	
			実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科
教科名： 企業研修C		北島	■ 2年 前期
到達目標	システム開発全体の流れを理解し実践できる業務能力を身に付ける。	16単位 256時数	
		実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名： 専門学校九州スクール オブ ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科
教科名： 企業研修D		北島	■ 1年 後期
到達目標	実践を通しプログラミングの開発に求められる開発工程の進捗管理を身につける。	16単位 256時数	
		実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： 企業研修D		北島	■ 2年 前期	
到達目標	実践を通しプログラミングの開発に求められる開発工程の進捗管理を身につける。	16単位 256時数		
		実務経験 ITプログラマ職歴有		
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名： 専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名： ITビジネス学科	
教科名： 企業研修D		北島	■ 2年 前期	
到達目標	実践を通しプログラミングの開発に求められる開発工程の進捗管理を身につける。	16単位 256時数		
		実務経験 ITプログラマ職歴有		
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		